

北方領土 福島県民会議通信

令和6年3月（第16号）
発行元：北方領土返還要求運動福島県民会議



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

令和5年度総会及び講演会の開催【令和5年6月13日】

福島市の杉妻会館で総会を開催し、令和4年度の事業報告及び収支決算、令和5年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

また、総会では役員の変更が行われ、8年間会長を務めた 小林 清美 氏が退任し、新会長として 大場 盛子 県婦人団体連合会会長が選ばれました。

なお、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、元北方領土問題対策協会推進委員の 工藤 信行 氏が決議文を読み上げ、政府に対し、平和条約の早期締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めると共に、県民会議として、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを満場一致で採択しました。



小林会長あいさつ



山内聡彦氏による講演

総会に引き続き、元NHK解説委員の 山内 聡彦 氏をお招きし、「北方領土問題の経緯と現況」と題し、講演会を実施しました。講演では、北方領土問題が起きた経緯やこれまでの外交、ロシアのウクライナ侵攻に伴う日ロ関係の悪化などについて説明があり、今後の返還運動を進めるに当たっては、国内を中心に原点に立ち返り、若い世代の理解と協力を得ることが必要であるとのお話をいただきました。

参加者からは「今までわかっていたつもりでいた問題だが、よく理解できた」「わかりやすい内容でとても良かった」等の感想が寄せられました。



北方領土青少年等現地視察事業【令和5年7月26～29日】

福島県民会議の主催により、25名（中学2年生4名、中学3年生7名、高校1年生1名、高校2年生2名、高校3年生4名、引率者3名、福島民報社記者1名、事務局3名）の視察団を組織して、3泊4日で5年ぶりに実施しました。

本事業は、主に青少年等を構成員とした視察団を北方領土隣接地域に派遣して視察等を実施することにより、参加者に北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、一層の理解と関心を高めてもらうことを目的とするものです。

視察団一行は、北方領土隣接地域（根室市、別海町、標津町、中標津町）を訪問し、北方領土の望見、啓発施設の見学、北方領土の語り部である元島民2世の小野瀬 稔之 氏（母が択捉島出身）の講話聴講などを通して、理解を深めました。



元島民2世の小野瀬さんの講話

このほか、視察中にはポー川史跡自然公園で会津と標津地域の関わりについての歴史授業を受講し、幕末、北方警備のために現在の標津町に派遣された会津藩士たちが、豊富な水産・木材資源に着目し開拓に寄与したことや、アイヌの人々への教育に力を入れていたことなどの説明を受けました。



納沙布岬にて

参加生徒からは、「実際に自分の目で見て、身近な存在であることを感じた」、「視察で学んだことや、得た知識を家族や友達などたくさんの人に伝えていくことが大切」等の感想が寄せられました。今後の日本を担う若い世代が、返還要求運動を継承していくことが期待されます。

令和5年度北方領土問題教育指導者現地研修会【令和5年7月31日～8月2日】

この事業は、全国の社会科担当教諭を北海道根室市に招聘し、北方領土の視察や北方領土授業構成案づくりへの参加などの研修を通じて理解と関心を深め、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施されました。本県からは、田村市立滝根中学校の教員1名が参加しました。



令和5年度北方領土青少年交流のつどい【令和5年8月2～3日】

本事業は、北海道・東北の各道県の中学生が集まり、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年が理解と関心を深めることを目的とするもので、毎年持ち回りで開催しています。今年度は山形市内を会場として、山形県北方領土返還促進協議会が中心となり、令和元年度以来4年ぶりに一堂に会しての開催となりました。

本県からは、桑折町立釀芳中学校の生徒2名及び教員1名が参加し、元島民語り部（捉島出身 鈴木 咲子 氏）の講話を通して、各道県から参加した生徒とグループディスカッションを行い、北方領土問題に関する知識を深めました。

北方領土返還要求北海道・東北国民大会【令和5年8月25日】



大会長（北海道知事）あいさつ

本大会は、北方領土問題の解決にかける国民の総意を明確に示し続けるため、北海道・東北六県が一体となり、確固とした意思のもとに粘り強く返還要求運動を推進し、政府の外交交渉を強力に支援していく決意を新たにすることで、本県からは1名が出席しました。

大会では、ロシアによるウクライナ侵略について触れ、「北方四島の一括返還の実現を目指し、政府の外交交渉を後押ししていくとともに、新たな決意のもとに粘り強く北方領土返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図る。」との大会宣言がありました。

北方領土返還要求後継者キャラバン隊表敬訪問【令和5年8月28日】

北方領土の元島民及びその後継者で組織する（公社）千島歯舞諸島居住者連盟により、北方領土問題の啓発等のため「北方領土返還要求後継者キャラバン隊」として福島県及び本県民会議への表敬訪問が行われました。



メッセージを手交する原田純子さん（右）



キャラバン隊の皆さま（中央たすき掛けの3人）

令和5年度北方領土問題教育委員会関係者現地研修会【令和5年10月3～5日】

この事業は、全国の教育委員会関係者を北海道根室市に招聘し、北方領土研修を通じて理解と関心を深め、教育者会議等と教育委員会との協力関係を構築し、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施されました。本県からは、教育庁の職員1名が参加しました。



パネル展 in 福島県会津自然の家【令和5年7月16日、10月9日】

福島県会津自然の家において令和5年度未来キッズ生き生き事業として開催された「里山開放デー（7月16日）」、「あったかふれあいまつり（10月9日）」において、今回初めてパネル展を行いました。パネル展示とあわせて、「エトピリカ～想いを紡ぐ島～」の上映やグッズの配布を行い、来場者の皆さまからは北方領土についての質問等もあり、理解と関心を深めていただきました。



パネルの展示



「エトピリカ～想いを紡ぐ島～」の上映

福島県女性大会・二本松婦人大会における活動報告【令和5年10月17日】

二本松市民会館にて行われた第74回福島県女性大会・第18回二本松婦人大会において、小林 清美 前会長 と 増子 恵二 事務局長が「北方領土青少年等現地視察事業」の報告を行いました。「若い力で北方領土返還の輪を広げ、つなごう」というテーマで、県内の青少年らとともに現地に出向いた3泊4日の研修事業について話しました。



報告する小林前会長



会場の様子

北方領土返還要求中央アピール行動【令和5年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、都内でアピール行進が実施されました。全国各地から約110団体、総勢約500名の参加があり、日比谷大音楽堂を出発し、国民の総意の証である全国47都道府県旗を掲げながら「北方領土を返せ!」とシュプレヒコールを行い、熱意あふれる行進をしました。本県民会議からは3名が参加しました。



県旗を掲げながら行進する様子



北方領土返還要求
中央アピール 横断幕

令和5年度北方領土に関する標語・キャッチコピー

(独)北方領土問題対策協会では、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論を喚起するため、昭和44年度から毎年標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では、全国から8,765作品の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。

最優秀賞 「四島(しま)想い 心に点す 返還の火」

優秀賞 「国民で 一致団結 四島(しま)返還」
「届けよう 島への思い 我らの声で」
「終止符を 打とう今こそ 返還を」
「外交の 背中を後押し 民の声」



令和6年北方領土返還要求全国大会【令和6年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された本大会には、本県から2名（県関係者1名、県民会議1名）が参加しました。



岸田総理大臣あいさつ



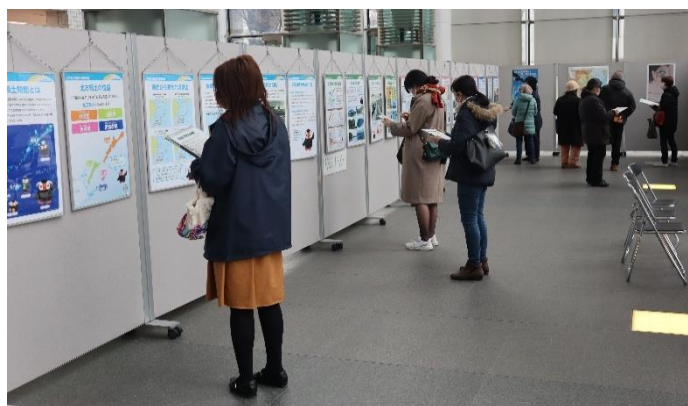
北方領土をご紹介します

北方領土パネル展【令和6年2月5～9日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、コラッセふくしま（2月5～6日）、福島県庁（2月7～9日）において「北方領土パネル展」を開催しました。コラッセふくしまでのパネル展には北方領土イメージキャラクターのエリカちゃんがPRに訪れ、来場者の人気を集めていました。小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの方が足を運んでくださり、北方領土へ思いをはせていただきました。



北方領土エリカちゃん



来場くださった皆さま

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16

（福島県総務部県民広聴室内）

T E L : 024-521-7013 F A X : 024-521-7934

M a i l : koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター
「エリカちゃん」、「エリオくん」